

I 実践

1 研究主題

生徒の人権感覚や人権意識を育成するための教育活動の充実と人権教育推進計画の工夫・改善

(1) 主題設定の理由

人権の基本にあるのは、一人一人の人間の尊厳である。そのため、「茨城県人権施策推進基本計画」に基づき、「教育活動全体を通して人権尊重の精神を養うとともに、差別や偏見をもたない児童生徒の育成」を目指している。そのための課題の一つが、「人権問題の理解については知識理解を中心とした学習であったことから児童生徒に人権感覚が十分身についていないこと」である。そこで、教科や領域での教育活動全体で体験的な活動や話し合い活動を通して理解を深めることができれば、一人一人の人権に対する意識を高めることができると考えた。

(2) 研究のねらい

各教科、道徳、特別活動等の学校生活全体を通して、人権教育の充実を図り、人権尊重の精神の育成を目指す。

2 実践内容

(1) 学級活動における「人権問題」に関する授業（第2学年）『いじめについて考えよう』

ア 「新聞特集・・・いじめ」の資料を読んで話し合う。

イ 話し合いをとおして、「～考えよう相手の気持ち 育てよう思いやりの心～」についての理解を深める。

ウ 生活の改善を目的とする標語入選作品 【見てるだけ いじめてなくても いじめだよ】

(2) 道徳の時間における「人権」に関する授業（第1学年）『思いやり算』

ア 資料「ドラゴンボールDVD、ACのCM」を見て話し合う。

イ 話し合いをとおして、「自分本位ではなく、相手の立場になって行動することの大切さ」について考えたことをまとめる。

つ

(3) 学校行事での取り組み

ア JRCの活動



【結団式】



【地域防災訓練】



【赤い羽根募金】

＜先輩からのメッセージを聞いて＞
東日本大震災が起きた日から、
久慈中体育館でボランティア活動をして
いた先輩の話を聞くことができました。
地域の「絆」のために「日配り・気配り・心
配り」を合言葉に取り組んだことが
わかりました。その姿勢は、私たち
今の中学生にとっても大切でわうと考
えます。この心意気を私たち久慈
中生は継続していきたいと思っています。

＜久慈中学区防災訓練に参加して＞
AEDの扱い方や色帯の巻き方や
消火器の扱い方など、地域防災には
なくてはならない活動に参加しました。
とくに、JRC委員は、高齢者の方々
のお世話を中心に行いました。血圧
測定の結果の記入の手伝いや車い
すの扱い方を練習しました。また、お年寄
りの方々への肩たたきのサービスを行い、
地域の方々との交流を深めました。



【リーダー講習会石巻へ】



【JRC県地区研修会で発表】



【敬老会ボランティア】

ウ 黒潮祭での発表



【姉妹都市でのホームステイ】



【長崎平和への旅】



【久慈中ゆるキャラグランプリ】

《平和への旅に参加して》

私は平和への旅に参加して、平和の大切さや命の大切さを学びました。私たちに、戦争は非日常であり、簡単に理解できるものではありません。しかし、私はこの旅で私たちが体験したことのないような素晴らしい体験が話さうなことができてきました。また、原爆が残したつめ残はとても悲しいものでした。とがたにせ軍服、鉄かぶとなど外ありまて。原爆外落さるに時間、止まった時計もありました。原爆投下直後の写真は、にも結、ていせんてした。たった1秒の原爆で、一瞬にして多く家族も失ってしまった人々の気持ちと、私には、今でも平和に感謝し、世界で起きている戦争や紛争に、決して深く考えるべきだと私は思います。

《ゆるキャラに込めた思い》

・1位 「ひまわりくろちゃん」

ひまわりの頭に【心が元気】【体が元気】【頭が元気】の久慈中スローガンを取り入れました。体には、本校で盛んに行われているソーランの法被を着用させました。元気いっぱい久慈中生！！

・2位 「くじちゃん」

久慈浜の？アザラシをモチーフとし、校章と組み合わせ制作しました。かわいらしさを追求して完成させました。心の広い久慈中生！！

エ 全校活動

集団の一員として役割を果たしたり、自覚をもって行動したりすることができる。



【地域清掃活動】



【あいさつ運動】



【エコキャップ集め】

3 成果

- ・いのちの教育や長崎平和への旅体験談を通して、生命の大切さや個性の尊重などについて考えたり話し合ったりすることにより、人権の基盤である自他の生命を大切にするという認識を再確認できるようになってきた。
- ・道徳や学級活動の時間では、学年や学級の実態に応じて、タイムリーな新聞記事やニュース等から人権教育の教材を見つけ、工夫した授業展開をする取り組みも多く見られた。
- ・各学年で行われている体験活動の中で、生徒が自主的に企画・準備・運営を行う機会をもつことで、お互いの個性を認め、協力し、友情を深めようとする態度が身についてきた。
- ・ボランティアの大切さに気づき、行動につながってきた。全校生徒で行う「リサイクル活動」、クラス毎に実施した「落ち葉掃き」、「エコキャップ集め」などに積極的に参加するなど、活動の輪が広がっている。

II 今後の課題

各教科や道徳、総合的な学習の時間・学校行事など教育活動全体の中で、人権に対する取り組みをさらに充実させ、生徒一人一人の人権感覚や人権意識を高めていきたい。また、校内研修の充実を図り、教職員の人権に対する知識や理解を高めていくことも大切である。さらに、検討中の人権コーナーを設置し、意図的・計画的な実践が図れるようにしていきたい。